

愛する子供たち
2024年・8月・11日
ポー・スターン・ブレイディー

数週間前、私はエペソ人への手紙第4章から教えました。そこには、成熟へと成長することについての非常に鮮明な指示が含まれています。聖徒たちを整えるために行うべきことのリストを与えた後、パウロはこう言っています：

“こうして、わたしたちはもはや子供ではないので、だまし惑わす策略により、人々の悪巧みによって起る様々な教の風に吹きまわされたり、もてあそばれたりすることがなく、愛にあつて真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達するのである。”

エペソ人への手紙 4:14-15 口語訳

はっきりしているようです。私たちは成長する必要があります。年相応に行動しましょう。(私たちはかつて「靴のサイズではなく、年相応に行動しましょう」と究極の批判として言っていました。)この聖句に賞があるとすれば、それは成熟であり、キリストのようになることがその成熟の定義であると表現されていることに、私たち全員が同意できると思います。賞は成熟であり、使命は「幼児になってはいけない」です。

それでも、これは私が聖書で好きなことの1つです。私たちは常に、真実の弾丸のように知的な銃に装填できる聖書の節を探していますが、そううまくいくことはめったにありません。1ペテロ2章のこの節を見てください：

“だから、あらゆる悪意、あらゆる偽り、偽善、そねみ、いっさいの悪口を捨てて、”

ペテロの第一の手紙 2:1 口語訳

パウロとペテロは同じ比喩を、ほぼ正反対の方法で使っています。赤ん坊のようになってはいけません。赤ん坊のようになりなさい。これは、この二人がそれぞれ異なる考えや世界観、文体を持つ異なる著者であるという事実のせいだと言えるでしょう。しかし...エペソ人への手紙のほんの数節後で、パウロはこう言っています(これが今日の本文です)：

“こうして、あなたがたは、神に愛されている子供として、神にならう者になりなさい。また愛のうちを歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。”

エペソ人への手紙 5:1-2 口語訳

パウロは「私たちはもう子供のように生きることはできない」と言いましたが、今は「愛されている子供のように生きなさい」と言っています。一体何が起っているのでしょうか？これらの節の紆余曲折はすべて、イエスに従う人々の人生におけるイエスの変革の働き of 美しい絵を描くために実際に機能しています。私はこれが大好きです。この件について王イエスに耳を傾けましょう：

“そのとき、弟子たちがイエスのもとにきて言った、「いったい、天国ではだれがいちばん偉いのですか」。すると、イエスは幼な子と呼ばれ寄せ、彼らのまん中に立たせて言われた、「よく聞

きなさい。心をいれかえて幼な子のようにならなければ、天国にはいることはできないであろう。この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。”マタイによる福音書 18:1-4 口語訳

これはかなり明白です。なぜなら、イエスはただ比喻で話しているのではなく、すぐそばに子供がいるからです。想像してみてください。この成人男性たち。漁師。徴税人。熱心党员。泥棒。全員がこのラビに従うために命を捧げました。彼の言葉を聞き、彼のほこりをかぶり、彼のようになるために。そして今、イエスは小さな子供を指してこう言っています。「彼のようになりなさい」。でも待ってください。イエスは単に「子供のようになることが王国に入る方法の一つである」と言っているのではなく、「それが唯一の方法である」と言っているのです。

ナザレのイエス。王イエス。救世主。今朝、私たちが流れるような言葉とファンファーレで崇拜したイエスは、神の王国に入るのを妨げるものがあるとおっしゃった瞬間がありました。実際、イエスは、彼らはすでにこれを実践していないと言っています...「あなたが変わって子供のようになるまで。」

今朝、私は皆さんに、イエスの子供のような信者になるという考えは、教会で非常に過小評価され、十分に説かれていない原則であるということを示し上げたいと思います。このことに関する言葉は強烈すぎて、私がイエスの信者となって50年の間に、これに関する説教をほとんど聞いたことがありません。

神との完全で豊かな関係を築くには、子供のようにならなければなりません。子供のようにならなければなりません。

そして、子供っぽくなくてははいけません。

子供っぽい:

悪意

kakos 「カコス」から来ています。つまり、悪、つまり墮落、悪意、またはトラブルです。あなたとあなたの関係に広がり、感染し、毒を作り出すようなトラブルです。悪意は未熟ですが、人々やコミュニティ全体にとって危険でもあります。

欺瞞

これは特に、誰かを誘い込んで何かに引き込むために使われる種類の欺瞞です。詐欺や一攫千金の計画のようなものです。自分の利益のために嘘をつく人は赤ん坊であり、自分の嘘に溺れてしまう危険があります。

偽善

俳優。応答。これはおそらく、教会内で最も容認されている、そして場合によっては最も必要とされる未熟さです。お元気ですか？大丈夫です。世界が燃えているように感じる時でも？昨夜、すべてを終わらせる方法を考えたときでも。結婚生活はどうですか？素晴らしいです。今年を乗り切るか、今月を乗り切るかわからないときでも？私たちは、信仰のコミュニティに合うように応答を調整します。人々のためにも応答を作ります。「神は良いですか？」「いつも！」つまり...素晴らしい発言ですが、神は本当に良いのだろうかという疑問に思うときはありませんか？つまり...いつもですか？私たちは、心の本当の疑問を表現するよりも偽善的である方が良いと信じるように自分自身を訓練しており、私たちの教会の父たちはこう言っています。「偽善は子供の信仰ではありません...それは子供じみていて、子供らしくなく、危険です。」

妬み

正確には、罪の影響により悪化した強い感情(欲望)。誰かが不幸や苦痛を経験すると喜ぶというみじめな性質。

中傷

悪口、陰口、中傷、誹謗。katalalos「カタラロス」から派生したもの。中傷。これらはジャンクフードであり、神の言葉とイエスの道という真の食物を切望する気持ちを妨げます。子供じみてはいけません。パウロは言った：“こうして、あなたがたは、神に愛されている子供として、神にならう者になりなさい。また愛のうちを歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。”

エペソ人への手紙 5:1-2 口語訳

安全(所属)

提供される

無罪

不思議

アイデンティティ: 子どもたちは、自分たちのアイデンティティが確実に確かなものだとして理解しています。私の子どもたちは、「明日はスターンになるのかな？ 誰か他の人がスターンになって、家から追い出されるのかな？」などと考えたことはありませんでした。彼らは自分の居場所があるのです。

愛... (私のドロウジー人形。写真 私の両親は私と「家が火事になってもドロウジーのことは心配しないで」という話をしなければなりません。そして私は正直に言って、彼らの話は私にとっては重要ではなかったと思います。私はドロウジーを救うために自分の命を危険にさら

したでしょう。それが子供のような愛です。ばかっています。意味がありません。不合理です。それがイエスが私たちが愛した方法です。)「愛の道を歩む」。キリストが愛したように。悪意、欺瞞、偽善、嫉妬、中傷の反対です。それらは子供っぽいです。報われない愛は子供っぽいです。

パウロは、この最も美しい人生の絵を描きます...特に、自然な生活でこれらの恩恵を経験していないクリスチャンに。彼が手紙を書いている人々は、迫害され、安全ではなく、何も持たず、帝国の真の市民ではありません。彼らは自然の安全や豊かさに囲まれていないので、パウロはこう言っています - イエスとの関係がもたらす帰属意識と気遣いに深く根を下ろしなさい。(悪例: 人生が破綻し、ただ母の家に帰りたかったとき。小さくなり、世話をしてもらいなさい。)

ですから、ここでは原理が働いているのがわかります。真の成熟に達するためには子供のようになるという考えは...しかし、すべての原理には問題があり、ここでの問題は、世界が私たちが成熟ではなく大人のようになるよう常に押し付けていることです。大人のようになるということは、自分で決断し、自分の利益に気を配り、人々が私の愛に値するかどうかを判断し始めることを意味します。私は利己的で嫉妬深く、競争的で悪意を持ち始めます。それが大人の、弱肉強食の世界ですが、それは成熟ではありません。それは大人のようにもかもしれませんが、成熟ではありません。

しかし、パウロは、私たちの子供らしさを妨げ、蝕むいくつかの事柄について説明し、これらのことは私たちが未熟な大人になった証拠でもあるかもしれないとしています:

“また、不品行とさまざまな汚れや貪欲などを、聖徒にふさわしく、あなたがたの間では、口にするこゝとさえしてはならない。また、卑しい言葉と愚かな話やみだらな冗談を避けなさい。これらは、よろしくない事である。それよりは、むしろ感謝をささげなさい。”

エペソ人への手紙 5:3-4 口語訳

パウロは「しかしあなたたちの間では...」と言っています。これは、神を知らず、神に従わない人々にとっては違うということを暗示しています。

イエスは「あなたたちが変わらなければ...子供のようになる」と言いました。

これらの情熱的な指示から、また私自身の人生から、常に私たちが支配しようとするデフォルトモードがあることがわかります。私たちがより無邪気で、より冷淡で、より忠実でなく、私たちが自分自身に課す基準においてより流動的にします。そして、この真実に対する流動性は、常に私たちの信仰においてより子供らしくなく、私たちの行動や他人への接し方においてより子供っぽくします。

パウロは性的不道徳と不純について述べています。不純はギリシャ語で「混じり物、または感染」と定義されています。子供が汚れたナイフで自分を傷つけたときに起こることです。毒素が皮膚に穴を開け、体内に大惨事を引き起こす可能性のある感染症を引き起こします。それが不純と性的不道徳です。性的親密さの美しさと、物化と不貞が混ざり合ったものです。それは

毒です。(赤ちゃんのシンディはペプシとスニッカーズをよく見ていました。赤ちゃんがそのような本当にひどい食べ物でお腹をいっぱいにし、その影響を見るのは衝撃的でした。)。ペテロはそれを美しく言いました。「生まれたばかりの赤ちゃんのように、御言葉の純粋な乳を切望しなさい... 真の命を切望し... 健康と繁栄と自由につながるものを切望しなさい。」。純粋さを求める点で子供のようになり、痛みを伴う結果と、本来なるべき人に決して成長できないピーターパンのような人を生み出す簡単な代替品に対する子供じみた憧れを捨ててください。

ですから、子どものようにするには、あること(悪意、ねたみ、中傷、汚れ、不道徳)を捨て、あること(真実、純潔、誠実、思いやり、親切)を身に着ける必要があります。しかし、子どもを最も明確に定義するものは、今日の本文に明るい文字で書かれています。そして、それがこのすべてのオチです。書き留めて、覚えて、覚えて、覚えておくべき唯一のことです。実際、それが、私たちが実際に良いものを身に着け、罪を捨てることを可能にする唯一のことです。

ですから、愛されている子供として、神の模範に従いましょう...
心から愛した。

それがあなたの子供としての人生を定義するのです。あなたは心から、完全に、無条件に、素晴らしく愛されています。「愛されるためにこれらすべてのことをしなさい」とは言いません。「あなたは愛されているからこれらすべてのことをしなさい」と言っているのです。あなたは安心して大丈夫です。万能薬や偽物、朝食にスニッカーズバーは必要ありません。あなたは愛されています。あなたは愛の子供です。そしてそれがあなたのアイデンティティであり、強さと完全性をもたらす唯一のアイデンティティです。

“それでは、これらの事について、なんと言おうか。もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。ご自身の御子をさえ惜しまないで、わたしたちすべての者のために死に渡されたかたが、どうして、御子のみならず万物をも賜わらないことがあろうか。だれが、神の選ばれた者たちを訴えるのか。神は彼らを義とされるのである。”

ローマ人への手紙 8:31-33 口語訳

イエスは、私たちがまだ子供だったときに、私たちのためにこれをしてくださいました。私たちが罪と利己心と欺瞞と傷と痛みの荒れ狂う海に翻弄されていたとき、イエスは私たちを救うために現れたのです。もしあなたが今日まさに翻弄されていると感じているなら、もし私が話している間に、心の怒りや性的な不純さ、あるいは人生の要求や周囲の世界の崩壊によって本当の子供時代が奪われたというこの感覚のせいで、罪悪感や恥の波があなたの魂の岸辺を襲うのを脅かしていると感じたなら、勇気を出してください。あなたはまだ、イエスの尽きることのない、終わりのない愛の手の届く範囲にいます。ローマ人への手紙第8章の残りの部分を聞いてください:

“わたしは確信する。死も生も、天使も支配者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、その他どんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのである。”

ローマ人への手紙 8:38-39 口語訳